

経営講座

「新：高知県で儲かる会社を創る方法」

第21回テーマ

高知県の自治体の方での「数多くの儲かる会社創り（地方創生）」

※他県の成功例より学べること。その5

「地方創生は首長の責務である。」について詳説する。

これまで他県の地方自治体の町長、地方公務員、住民による「地方創生」の成功例を紹介したが、ここではこれらの成功例から学べることを詳説する。

私は「他県の自治体に出来て、高知県の自治体に出来ないことは無い」と確信する。

「数多くの儲かる会社創り（地方創生）」は首長の責務である。

これまでの成功例で私が感じることは、高知県内の市町村等の首長等も「うちの町（市または村）は何も無いからダメだ。」等と言わないで、何もなくても「数多くの儲かる会社創り」に成功している市町村等があるので、これらの市町村等を見習って「環境創生勝利戦略」並びに「その戦略を成功させる為の勝利戦術」での「数多くの儲かる会社創り」並びに地方創生を目指して頑張りたい。

これらの市町村等の地方自治体が実施する戦術や戦略（新アイデア）での「数多くの儲かる会社創り」即ち「環境創生勝利戦略」並びに「その戦略を成功させる為の勝利戦術」は、資金がなくても（または少ない資金でも）成功出来るし、また、その効果は一企業に限らず（経営者が実施する戦略や戦術の効果は一企業に限られるが）、その市町村等の全地域の企業に効果が及び、結果的に地方創生にも繋がるのである。

ただし、どの事業も簡単には成功していない。例えば、シンガポール観光の象徴として成功したマーライオンや田舎館村の素晴らしい田んぼアート、海士町の魚介類を高く売るシステムの確立等の「環境創生勝利戦略」並びに「その戦略を成功させる為の勝利戦術」も、必ずや複数の困難を乗り越えて成功している。

私は、高知県内の市町村等の首長や各議員、地方公務員の皆様または住民の皆様方より、これらの「環境創生勝利戦略」並びに「その戦略を成功させる為の勝利戦術」のアイデアを提案して貰えば、ここで紹介した「成功アイデア（新戦術）」に負けない「素晴らしいアイデア（新戦術）」の発想が出現するものと確信している。

ただし、これを実践するかしないかは、各市町村等の首長にかかっている。頑張れ高知県の地方行政に携わる首長達よ！

各市町村等の各首長のいち早い英断と実践が、各市町村等の「数多い儲かる会社創り」の成否を握っている。これらの責任は首長にあるのだ。首長の英断が勝負を決するのである。前述したように、「数多い儲かる会社創り」即ち「環境創生勝利戦略」並びに「その戦略を成功させる為の勝利戦術」の新アイデア（新戦術）を発想できる方達は、各市町村等の職員の皆様や住民の皆様方の中に必ず存在する。

今迄は、首長がその方達の新アイデア（新戦術）を聞こうとしていなかっただけなのである。つまり、これらの方達の折角の成功新アイデア（新戦術）の発想を、各首長が消し

さっていたのだ。非常に残念に思う。いち早い、各首長の英断に期待するものである。

< 龍馬社長大学 学長 奴田原 惇郎 (ぬたはら・あつお) >